

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510

TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767

e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp

HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会

事務局：萩市ジオパーク推進課

Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

地球の視点で「萩らしさ」が“見える”“伝わる”まちへ

～萩ジオパーク構想基本計画・実行計画を策定しました～

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

萩ジオパーク構想では大地と人のつながりをテーマに、地質遺産を守り、学び、活かしたまちづくりを進めるとともに、日本ジオパークネットワーク加盟認定を目指してまいりました。平成30年は、本協議会の会員一丸となって、認定とジオパークとしての地域の持続可能な発展を目指して取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

11月27日(月)萩市役所大会議室において、平成29年度萩ジオパーク構想推進協議会臨時総会が開催され、第3号議案にて「萩ジオパーク構想基本計画・実行計画」を提案し、承認されました。

この萩ジオパーク構想基本計画・実行計画は、私たち協議会が、この萩の地でジオパークを展開するうえでの、目指すべき将来像とそれを実現するための活動の目標を掲げたものです。この計画を協議会会員はもとより地域の皆さんと共有することによって、まちづくりの新たな指針とするものです。

私たち協議会の提案した萩ジオパーク構想の将来像は、『地球の視点で「萩らしさ」が“見える”“伝わる”まち』にすることとし、地球目線で「知る」「守る」「創る」「伝える」「繋がる」の5つで新たな価値観を創造する活動を行います。それぞれに実現可能な短期目標を定め、以下のような具体的な行動目標を設定しました。

- ①「知る」…ジオパークの教育に携わる人材の育成とその仕組みを完成させる
- ②「守る」…各ジオサイトの保全方針を決定する
- ③「創る」…ジオツアーを商品化する
- ④「伝える」…ジオパークを「見る」・「遊ぶ」・「食べる」ための拠点完成させる
- ⑤「繋がる」…新たな組織体制の完成とJGN(日本ジオパークネットワーク) マグマネットワークを発足させる

これから、この萩ジオパーク構想の将来像を少しずつ、かつ、確実に実現していくために、部会活動やジオツーリズムを展開していきたいと思ひます。

萩市においては、「萩市報2月1日号」にてこの計画のダイジェスト版を全戸に配付いたします。また、阿武町および山口市阿東地域の皆さんにも同時期にお伝えする予定です。

さて、皆さんの実行可能なジオパーク活動は何でしょうか？ まずは、「ジオパークを楽しんでみる」ことから始めてみませんか。

萩ジオプランナー養成講座

萩ジオマスターの中から萩ジオパーク構想の大地と人のつながりを楽しませる方法を企画・案内する人を養成します。

- 2月3日(土) 10:00~16:00 会場:【座学】検討中、【現地】笠山 内容:伝わるガイドトレーニング 講師:菊間 彰(一般社団法人をかしや代表理事) 対象:萩ジオマスター、現地でガイドをやる方、やりたい方。
- 2月4日(日) 9:30~16:00 会場:萩・明倫学舎 内容:①ジオパーク的な楽しませ方とは ②ジオストーリーづくりトレーニング ③ジオツアー・プログラム開発 講師:柚洞一央(徳山大学准教授) 対象:萩ジオマスター 申込み・問合せ:萩市ジオパーク推進課(0838-25-7765)。

【報告】萩ジオマスター講座 テーマ「大地と人とのつながりを楽しもう。」

好評のうちに開催している萩ジオマスター講座ですが、終盤に入り内容もさらに多様になってきました。今回報告する講座も、受講者のみなさんが楽しみながら大地と人とのつながりについて考える良い機会になりました。

11月23日(木)は選択講座⑤「萩の酒はなぜ美味しい」と題し、萩の日本酒をテーマに酒蔵を巡りました。見学前には、酒造りに特に大事な「水」について、萩を含めた日本では軟水が多い地形・地質的な理由を学び、軟水と硬水の飲み比べもしました。その後、阿武の鶴酒造(阿武町)と岩崎酒造(萩市)の2軒の酒蔵を見学し、井戸水を飲み比べたり、日本酒の試飲もしました。それぞれの酒造の地質や地形的な環境の違いを知った上での見学でしたが、水の違いを感じるのは難しかったです。しかし、造り手のこだわりで酒の味が全く変わることを肌で感じることができました。



〔酒蔵の井戸を見学〕

11月25日(土)は、阿武火山群の研究もされている神戸大学の清杉孝司(きよすぎ こうじ) 助教をお招きし、必修講座⑥「萩の大地の成り立ちⅤ～阿武火山群その2～」を行いました。弥富公民館で火山の基礎から清杉先生が歩き回って研究した阿武火山群についての見解などのお話を聞いた後、野外の見学に出発しました。イラオ火山灰層観察施設、曇ヶ淵、猿屋の滝、龍鱗郷と、阿武火山群の一つである伊良尾山が噴火してつくりあげた地層や溶岩をたどりました。研究者の生の声が聞ける貴重な機会となりました。



〔曇ヶ淵のでき方の解説〕

12月2日(土)は、道の駅萩シーマートにて、選択講座⑤「萩の魚はなぜ美味しい」を行いました。専門員から「萩の周辺で美味しい魚がとれるのは、阿武火山群や見島の溶岩のおかげ」という話を聞いた後、萩シーマートの駅長・山口泉さんの案内で、旬の魚が売られている様子を見学しました。その後、魚屋さんにアジのさばき方を習い、栄養士の野村京子先生指導のもと、自分のさばいた魚を使って料理を作りました。美味しい理由を知り、自分で調理した魚は一段と美味しく感じられたと思います。



〔魚屋さんによるさばき方の実演〕

12月3日(日)は、必修講座④「大地の成り立ちⅢ～日本海の誕生と火成活動～」でした。講師は必修講座③でもお世話になった山口大学の今岡照喜(いまおか てるよし) 教授です。須佐公民館で3千万年前の大規模噴火の痕跡である田万川カルデラや、その後大陸の縁が裂けて日本海ができる過程で起きたマグマの活動が高山や須佐ホルンフェルスを造った話を聞きました。現地見学では約1500万年前に日本海の海底に堆積した地層を見ながら高山を登って山頂の磁石石を見た後、曇岩を見学しました。観光地として有名な場所ですが、改めて景観の中の地球の記憶に触れることができました。



〔高山の成因と磁石石の解説〕

ジオパークは、大地の成り立ちや歴史を理解するだけにとどまらず、大地の生み出す恵みを享受することも大切な視点です。自然に育まれた産物を、食を通して味わい楽しむことで大地と「つながる」ことができます。今年度の萩ジオマスター講座は残すところあと1回です。次号には多くのジオマスター誕生の様子をお届けする予定です。

(ジオパーク専門員：白井孝明)

「北浦ジオストーリー～大地からのめぐみ～」ツアーから

秋もいささか寒さを増した11月の後半に、山口きらめき財団主催で萩地区の「北浦ジオストーリー～大地からのめぐみ～」ツアーを晴天に恵まれて開催いたしました。

当日の午前中の会場は萩・明倫学舎で、前半は萩市ジオパーク専門員の白井孝明氏が、大陸から日本列島が誕生するまでのストーリーと現在に至るまでの北浦地域の生活文化に与えた影響と恩恵を講演されました。誰にも分かりやすいお話でした。

後半は NPO 法人萩元気食の会理事長である岡野芳子氏から前半の講演と関連して郷土料理のお話がありました。昼食は「鯨とちりめんいりこ」に地元産の秋野菜で作られた総菜とご飯の絶品弁当で美味しく戴きました。

午後からは、マイクロバスによる現地見学でした。車中では所要所要通過する場所で「柱状節理の奇岩」、また、広大な溶岩台地の羽賀台など、白井専門員の説明を聞きながらいつの間にか時間が経ち、最終コース地の笠山展望台に到着しました。ここでは、大地と海洋（日本海）の接点となる海岸線を眺め、午前中の講義から大地の創造と大海の神秘を思い浮かべて、次年度の「海洋からのめぐみ」ツアーを楽しみに笠山を後にしました。

(NPO 萩まちじゅう博物館理事長：須子義久)



〔上：笠山山頂での見学、下：お弁当〕

ジオ・カメラ散歩

木間小中学校では白井専門員を講師にジオ学習を行いました。子どもたちは、学校の場所ががけ崩れの危険性のあることを知っています。今回、地区の防災避難訓練にも参加しました。



相島と言えばサツマイモ！ 毎年9月のフェスタでは、島外から200名を越す方の参加があります。島内散策では小中学生がガイド役を務めました。



弥富地区の「そばの花まつり」で龍神太鼓に参加した小学生の感想。
「上手にたたけて、楽しかった」「笛がむずかしかったけど、何とか吹けて良かった」「卒業するけど、もしできるなら、来年も一緒に演奏したい」。

※今回は、萩市内の小中学校のジオパークに関連する学習の様子を紹介します。

阿武町 役場職員対象のジオパーク研修会がありました 12/19(火)

12月19日(火)に阿武町役場職員向けのジオパーク研修会があり、白井孝明専門員が「ジオパークによる地域の描き方」と題した講演を行いました。花田憲彦町長、中野貴夫副町長をはじめ約50名の役場職員のみなさんが参加し、ジオパークのしくみや阿武町のジオパークとしての可能性について理解を深める機会になりました。終了後、花田町長からは「ジオパークという“取り組み”に関する認識がこれまで以上に深まった」、中野副町長からも「認定が目的とっていたが、活動を続けることが重要であることがわかった」という言葉をいただきました。

[研修会の様子]



明治維新 150 年記念オープニングイベントでジオパークを発信！ 1/20(土)

今年は、私たちにとって、日本ジオパークネットワーク加盟となる記念すべき年ですが、明治維新 150 年記念の年でもあります。1月20日(土)には、萩市民館大ホールで「明治維新 150 年記念オープニングイベント」・開会式が行われます。ここで、藤道健二会長(萩市長)から、本年の加盟申請に向けた萩ジオパーク構想の新しい取り組みとして、新テーマ「維新とマグマの胎動の地」や新ロゴマーク等を紹介する予定です。

明治維新から 150 年の今年、萩に「ジオパークという維新、が起こるのです！

また、萩のジオパーク活動を展開する上で大事な視点として、生産者を通じて消費者とつなげることで、あらゆる人が地球(GEO)と「つながっている」ことを感じて・楽しんでもらうことが不可欠だと思っています。そこで、萩ジオパーク構想が掲げるコンセプトやテーマに沿い、かつ、萩の大地が生んだ特産物(野菜・魚介類など)をふんだんに使用した鍋『萩ジオなべ(仮)』を来場された皆さんに賞味していただく予定です。皆様のご来場をお待ちしております。



[萩ジオなべ(イメージ)]

1月の予定

- 萩ジオマスター講座(第12回) 1月14日(日) 9:00~12:00 場所: 萩博物館、定員: 満員、内容: 萩城下町はどうしてできた 主催: 萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ: 萩市ジオパーク推進課(21-7765)
- 萩ジオマスター講座修了式 1月14日(日) 13:30~14:30 会場: 萩博物館、内容: 修了証、萩ジオマスター認定証の授与など 備考: 終了後希望者による茶話会を開催します。1月10日(水)までに事務局(21-7765)へお申込みください。主催: 萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ・申込み: 萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)
- 日本一おもしろい火山体験ツアーin 笠山をみんなでつくろう ①1月11日(木) 13:30~15:00 会場: 笠山山頂展望台、②1月17日(水) 19:00~20:30 会場: 越ヶ浜介護予防センター 内容: ①笠山山頂展望台の活用、②笠山・越ヶ浜のジオストーリーをみんなで考える。主催: 萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ: 萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)
- 萩ジオカフェ 1月18日(木) 18:30~20:00 会場: ゲストハウス ruco(萩市唐樋町92)、参加費: 200円(飲み物代は別途)、主催: 萩ジオパーク構想推進協議会 申込み: 前日までに萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765) ※全国のジオパークからお菓子をお取り寄せ。どこのジオパークかは当日までヒミツ。
- 明治維新 150 年記念オープニングイベント 1月20日(土) 13:00~15:00 会場: 萩市民館大ホール 参加費: 無料 内容: 開会式で、萩ジオパーク構想の新テーマに触れるほか、萩の大地の恵み「萩ジオなべ」のお振る舞いがあります。主催: 萩・明治維新 150 年記念事業実行委員会 問合せ: 萩市企画政策課(25-3102)
- 大島まるまる体験ツアー 1月21日(日) 11:00~17:10 会場: 大島 内容: ブロッコリー収穫体験、島内散策などのほかジオパークについてのお話も。定員: 50名(先着順) 参加費: 中学生以上2,000円、小学生1,000円、幼児500円(昼食代込み、別途船賃)、主催: 大島元気なねえさまの会 申込み・問合せ: 1月10日(水)までに、大島出張所(電話: 0838-28-0584)